

NPO法人オンザロード 東日本大震災プロジェクト活動報告書

平成 23 年 4 月 24 日～ 4 月 30 日

【石巻市基本情報】

□担当地域名：宮城県石巻市渡波地区、女川町周辺

□避難者人数：石巻市 9,692 人／女川町 1,852 人

□指定避難所数：石巻市 108 /女川町 16

□全壊家屋数+半壊家屋数：石巻市 28,000 /女川町 3,000 ※4月22日宮城県調べ

□ライフラインの復旧状況：石巻市内では電気、都市ガスはほぼ復旧、水道に関しては一部復旧しています。女川町では電気、水道が一部復旧、ガスは被害はなし。 ※5月4日宮城県調べ

■現在の活動内容：



ボランティアビレッジの設備拡大、作業車両の追加など、ゴールデンウィーク中のボランティア増加に対する、受け入れ体制を整えています。

□各班の活動内容



●ドロかき出し・ガレキ撤去班

- ・ 82 人（その内班長 11 人）
- ・ 終了件数：88 件
- ・ 担当地区：石巻市渡波地区

一般家屋や小学校、工場などに入り込んだ泥のかき出し、ガレキの撤去を行っています。班長を含むボランティアは、毎朝 8 時に渡波支所へ行き、被災者からの要請を受け付けています。今週から道路脇に積まれている大量のゴミの撤去作業に重機を入れ効率化を計り、今週だけで、合計 384 トンのゴミを集積場へ運びました。



●炊き出し班

- ・ 17 人（その内班長 2 人）
- ・ 担当地区：渡波・女川

避難所などへの炊き出しを行います。社会福祉協議会より依頼された、主に渡波・女川町内で、温かい食事を中心に提供しています。今週の活動内容は以下。

- 24 日 場所：女川第一小学校 / 提供：200 食 / スパムカレー
- 25 日 場所：女川上三区 / 提供：200 食 / 炊き込みご飯、わかめ味噌汁
- 26 日 準備日
- 27 日 場所：女川第一小学校 / 提供：200 食 / 炊き込みご飯、味噌汁
- 28 日 場所：女川第一小学校 / 提供：200 食 / 牛丼、たまごスープ
- 29 日 場所：女川第一小学校 / 提供：190 食 / チキンハンバーグ弁当
- 30 日 場所：女川第一小学校 / 提供：230 食 / まぐろ弁当、イワシのツミレ





●生活班

- ・参加人数：8人（その内班長1人）
- ・ビレッジ内部担当

生活班は、ボランティアへの対応や生活面のケアを担当。毎日、ボランティアの食事一日200食分の調理、案内、送迎、洗濯やビレッジの補修作業を行っています。今週はこれから増加するボランティアへの体制作りとして、今までの業務に加え、新たなテント張り、台所の増設を行いました。



●仮設シャワー介助班

- ・3人（その内班長1人）
- ・担当地区：洞源院避難所近くの広場

渡波地区の避難所、洞源院とサンファンパークの被災者を対象に、米軍管理の仮設シャワーで、入浴介助を行っています。各家の掃除や片付けに追われる被災者が、温かいお湯に入れる様に、毎日約200人を誘導、介助、シャワー室の清掃、コミュニケーションを中心に対応しています。



●避難所となっている渡波保育所のサポート

- ・参加人数：4人（その内班長1人）

避難所になっている渡波保育所のサポートボランティアを始めました。保育所前に建てられた仮設のお風呂（提供：フェニックス）の管理、避難所で発生するニーズ対応、近隣の掃除を行っています。3機あるお風呂は、毎日近隣の住民20～30名が利用しています。



●撮影班

- ・4人
- ・担当地区：主な活動場所全て

沢山の方々への伝達として、写真や動画を記録しています。サイトもリニューアルされ、随時ビジュアルで現状を訴えていきたいと思っています。

■活動予定内容：

今週から追加したトラック搭載型クレーンや、パワーショベルを活用し、より大規模な瓦礫の撤去を開始しました。家屋の中を片付けて、道にまとめられた瓦礫を集積場へ運び出しています。これによって家屋の中だけでなく周辺のクリーンアップも実施しています。

■課題、ミッション：

4月後半は通常の支援活動と同時並行で、ゴールデンウィークのボランティア人数の増加に対する対策が中心となりました。オンザロードとしても期間中は曜日によっては1日150名～200名のボランティアの方々が申し込んで頂いているので、様々な昨日機能強化を準備致しました。

具体的にはテントを持って来られないボランティアの方々が寝泊まり出来るドミトリーテントの設営、ボランティアをコーディネートする班長の増員、炊き出し・賄いを調理する台所の設備強化、人数増加に伴う食材や備品の追加調達などを行いま

した。

また、最も重要で作業とお金が必要なのは車両の追加確保です。ボランティアビレッジから現地に向う足となるワゴン車。またゴミや瓦礫を被災地から集積場に運び出す重機を追加で手配致しました。一部は有料でゴールデンウィーク期間限定レンタルしたものもあります。

ワゴン車については常時 16 台程で体制を組んでいましたが、ゴールデンウィーク期間については日によりますが 25～30 台程での展開準備を行いました。

重機についても常時 4 台体制でございましたが、期間限定で 18 台の増加を行って対応致します。

この様に、現場でのニーズは日々刻々と変化致します。支援物資は随時、ご連絡頂き、ニーズに沿ったものはご提供の願いをしつつも、ボランティア活動の即応性を維持する為、また出来るだけ必要物資を現地で調達して地元経済に貢献する為にも、支援者の皆様方からは引き続き支援金のご協力をお願い致します。頂いた支援金は現地で必要とされるニーズに可能な限り早く対応するための人員、物資の確保に使わせて頂きます。

皆様からの心温かい、ご支援を引き続き宜しくお願い申し上げます。